INFORMATION & OTHERS

レースの楽しみ方は人それぞれ 自分だけの推しライダーを探そう!

今大会の会場が全日本初開催だからと言って、皆さんが初めて全日本選手権を観戦するわけじゃないことは承知してます。でも!! 近くであるなら一緒にとか、いつも立ち寄るショップさんに勧められてとか、初めて全日本のレースを観戦する方もいらっしゃるはず。だから今回も同じことを書いてます。目一杯楽しんで下さい!!

モトクロスの1番の面白さってなんだと聞かれたら、もちろん横一線のスタートや、空飛んでるじゃん…なジャンプの迫力はその通りなんですが、実はライダーと観客の距離だと思うんです。ライダーというプレーヤーと観客が、声が届く距離で接することが出来る競技って、実はそんなに多くないですよね。特にモータースポーツではフェンスの向こう側が当たり前。その点モトクロスは、野球で言えばベンチの前で選手と話が出来ちゃうし、レース中の応援がしっかりとライダーの耳に届きます。だから腕なんか組んでないで、目一杯手を振って、大きな声を出して盛り上がってください。

元全日本チャンピオン 富田俊樹が教える

開幕戦はココを見ろ!

みなさんこんにちは。IA2&IA1チャンピオンを経て、今はヤマハの開発ライダーを勤めている富田俊樹です。例年よりー月早い最終戦、しかも全日本初開催のコース。これは面白くなりそうな予感しかありません。他のコースとくらべても難易度から乗り込んでるライダーが有利になるんですけど、今回は正しく実力勝負。体制が変わったライダーもいる中、主役はやっぱりIA1。新チャンピオンの大倉と昨年のジェイでですかね。大倉、大城は海外トレーニングの成果がどうなんって言いながら、自分たちが仕上げてきた重産ベースっぽい感じがするんですが、今回はホクも出ちゃいます!! 自分たちが仕上げてきた重産ベースっぽい感じがするんですが、今回はホクも出ちゃいます!! 自分たちがどこまで戦えるか、その確認と実戦かなぁ〜んて言いながら、大倉、大城は海外トレーニングの成果がどうなんって言いながら、自分たちが仕上げてきた重産ベースっぽい感じがするんですが、今回はホクも出ちゃいます!! 自分たちがどこまで戦えるか、その確認と実戦かこれからもモトクロス界を盛り上げて行きたいというトシ君の活動はSNSで。Instagramのアカウントは「toshiki_317」です。登録お願いしま〜す!!

どう出るかも楽しみ。まずはテストの一貫ではあるんですけど、まきりお店で売られているフィードバックが目的ですが、出るからには楽しませます。その様子をぜひ。

のがどのライダーで、お目当ての選手はどこにいるのか、実況放送が伝えているのはどのバトルのことなのか、それがわかるようになるまでは結構大変。だから最初は、ゼッケン1を付けたチャンピオンはどこを走っているか探すことから始めてみてください。

そのゼッケンですが、今シーズン一部ルールが変更になりました。基本IA1とIA2クラスは黒文字に白地に黒文字。でも今回2人だけ赤地ゼッケンがいますよね。これは前年度チャンピオンだけに許される栄光の証。IA2のチャンピオン中島漱也選手は海外に活動の場を移したためにIA2は全員が黒ゼッケンです。

そして今年からIA1とIA2のゼッケンが連番制になりました。基本ゼッケンの数字は去年のランキング順なので、数字の若いライダーは速いと覚えてください。但し、見てると三桁の選手がいたりしますよね。これはパーソナルゼッケンと言って、自分の好きな番号が買えちゃう制度を利用したもの。去年のランキングはプログラムを見れば一目瞭然です。

それとIA2クラスには01〜05を付けるライダーがいますよね。彼らは今年IB OPENからIAクラスに昇格したばかりのルーキーたち。今大会がIAデビュー戦となり、スタートの前なんか、ホントに口から心臓が出ちゃうんじゃないかってくらい緊張してるハズ。そんな時は観客の応援が何より力になります。選手紹介やサイティングラップの時に、手を振ったり、落ち着いて頑張れよ〜って声をかけてあげてください。

選手紹介でこっちを見てくれたとか、スタート前に声を出して気合いを入れていたぞとか、派手なウエアーが目立つとか、少しでも気になるライダーが見つかったら公式プログラムをチェ〜ック。誰か一人のライダーに的を絞って観

戦するとレースの展開が良く分かる様になります。スタートして一桁ゼッケンのライダーが後ろの方にいたら何かアクシデントが起きたかって思えるし、そうじゃないゼロナンバーのルーキーたちが前の方を走っていたら、そのライダーは相当頑張ってるって思ってください。

レース中の途中経過は、予選、決勝を通じ、お持ちのスマートフォンで公式サービスに接続すれば全体の順位やタイムをリアルタイムで見ることができます。アドレスはこの新聞の1番下にQRコードが置いてあります。携帯スマホで写メれば公式アカウントにアクセスできるはずです。

声援がレースを盛り上げる 声を出して応援しよう

今回、朝の練習走行の後、開会式と合わせて、また午後のレースのインターバルにフリースタイルモトクロスのデモが行われます。FMXって書きますけど、分かりやすくいうとジャンプパフォーマンス。これまたお客さんが盛り上がるとライダーはより張り切るので、スマホで撮影もいいですが、歓声や拍手で盛り上がって(盛り上げて)下さい。

せっかくの機会、チームパドックやメーカーのサービスブースにも出かけてみてください。昼休みには、ライダーたちとの交流イベントも企画されています。コースを下見するライダー、パドックでウォームアップするライダー、頑張ってねっていう応援ならいつ声かけしても大丈夫です。ぜひ推しの選手を見つけて下さい。

メーカーのパドックはもちろん、タイヤメーカやサスペンションのサービスなども自由に見学できます。スタッフさんに声をかけて商品の説明を聞いちゃうなんていうのも全然アリです。ビッグチームではポスターや応援のフラッグがテイクアウト出来るようになっているハズだし、IAライダーの多くがミニゼッケンステッカーを持っているので、一緒に来た子供さんは特に、何人分ゲットできるか「ステッカーくださ〜い!!」とパドックにライダーを尋ねて回ったら楽しそう。

レースの合間に観戦ポイントを変えてみるのもオススメです。コースサイドの観覧席に陣取るのもあり。会場内にいるのは誰もがモトクロス大好きな仲間たち。分からない事があったら気軽に声を掛け合って、大会を丸ごと楽しんでくださいね。

シーズンオフも LINE でお届け MX の表も裏もレポートします。

全日本モトクロスの現地情報を中心に画像やインサイドレポートをお手元のメディアに配信する速報サービス「HYPER MXING」は今年もLINE公式アカウントを使って配信しています。右上のQRコードからぜひお気軽にご登録ください。開幕戦は無料です。シーズンオフには今季の振り返りや来季の展望レポートなどもお届けします。

編集後記

いなべMSLが全日本開催に向けて動いているらしい…。その情報はかなり前から届いていて、近畿大会の帰り道に様子を見に来たこともありました。まずは全日本開催の実現にお祝いと感謝を申し上げます。何たって日本のド真ん中。鈴鹿サーキットがあってモータースポーツの聖地と言われる三重県で全日本やれないのは何でなのなんて軽々しく思っていましたが、開催に向けては沢山の困難があったものと想像します。

そして全日本チャンピオン経験者の小島庸平選手が主催を務めるという運営組織もほんとに嬉しい。プレーイングマネージャーとして後進の育成に尽力しながら今大会の開催運営に翻弄してくれた小島選手、新しい全日本をいなべから。今後の発展に期待します。

選手関係者ファン一丸となって全日本モトクロスを盛り上げましょう!!

MXING & MC Square 木田 淑

RIDING SPOT
PERFORMANCE PRODUCTS.
モータースポーツからツーリングまで
バイクライフをサポートする
(有)ライディングスポット
横浜市戸塚区上倉田1767
Tel.045-862-4878

全日本モトクロス新聞
MXING MOTOCROSSING
制作・発行/MC Square 木田 淑
〒135-0053 東京都江東区辰巳1-3-5-1409
Tel. & Fax. 03-35222278
E-mail: kida@mxing.com
HP:https://www.mxing.com
出力・印刷/東京カラー印刷株式会社
〒120-0024 東京都足立区千住関屋町5-27
Tel. 03-5284-1173 Fax.03-5284-1174
HP:https://www.tcpc.co.jp
全日本モトクロス選手権大会毎発行・無料

PREVIEW-INABE MOTOR SPORTS LAND

3月1日に行われた中部・近畿合同の地方選手権、中日本選手権に集合しまなべMSLを舞台に今シーズン初のレースを繰り広げるライダーたち。本番を制するのは果たして!? Photo/K.Kida

D.I.D 全日本モトクロス選手権シリーズ 2026 第1戦 中部大会
ダートフリークカップは、3月15日に三重県いなべ市員弁町のいなべモータースポーツランドで開催される。国内最高峰IA1、IA2、LMXの3クラスで行われる開幕戦。IA1はトリプルヒート、IA2は2ヒート制、LMXは1ヒートのみとそれぞれ違うレースフォーマットでバトルが繰り広げられる。シーズン初の勝者は誰になるか。FMXのデモと合わせ、手に汗握る激戦に熱い声援を送って欲しい。

白熱のバトルで盛り上がろう!
1.トップライダー&地元選手をチェック!
2.お気に入りのライダーを一人見つける!!
3.モトクロスだけの横一線スタートに全集中!!!
4.頑張る選手を全身全力で応援しよう!!!!

ゼッケン1を付けて挑む大倉と復活を狙うジェイ・ウィルソン

開幕から15ヒート中11勝をマークするなど、ライバルを完全に圧倒する強さを見せて連覇へと突き進んだ**ジェイ・ウィルソン**(#2/ヤマハ)。しかし完走すればほぼタイトルが決まる最終戦のH1で、ジェイは大クラッシュを喫し両ヒートリタイアとなる。この結果、劇的大逆転でタイトルに輝いたのがランキング2番手に付けていた**大倉由揮**(#1/ホンダ)だ。

迎えた新たなシーズン。連覇を目指す新チャンピオンの大倉に、タイトル奪還を狙うジェイが挑むことになる。シーズンオフにヨーロッパに渡り更なるレベルアップを目指した大倉。一方のジェイは、負傷骨折した左腕の回復具合が気になるところ。

そしてこの2人に襲いかかるのが**大城魁之輔**(#3/ヤマハ)や**大塚豪太**(#4/ホンダ)、**内田篤基**(#97/カワサキ)、若手の**西條悠人**(#311/カワサキ)、**浅井亮太**(#7/ヤマハ)ら進境著しいライバルたちだ。更にフル参戦が決まったタイのチャンピオン**ジラッジ・ワナラック**(#23/ホンダ)、またここ数年怪我に苦しみ、心機一転ヤマハからホンダにスイッチした**渡辺祐介**(#110/ホンダ)も注目すべき存在。マシン開発と量産車のポテンシャル確認のため2023年以来のレース参戦となる元チャンピオンの**富田俊樹**(#317/ヤマハ)がどんなレースを見せてくれるかも楽しみだ。

実力と経験で上回るジェイが完全復活を遂げ再び日本勢を圧倒するのか、それとも新たなヒーローが誕生するのか、多くのライダーにチャンスが訪れる15分+1周×3ヒートのスプリントバトルに注目して欲しい。

エース中島は海外で武者修行!! 新たなリーダーには誰がなる!?

全16ヒート中優勝が8回、2位が7回、3位なし、表彰台を逃したのは優勝決定のレースとなった最終戦の第2ヒートのみという安定した強さで連覇を果たした**中島漱也**(#1/ヤマハ)。今シーズン中島は、更なる強さを追い求めて活動の場を海外に移すことを決意。オーストラリア選手権へのチャレンジを開始する。

王者不在となったIA2クラス。昨シーズン中島の後方で繰り広げられた2位、3位争いが混戦だっただけに、その競り合いの中から誰が抜け出してくるかに注目が集まる。

中でも期待されるのが、昨シーズン第3戦で自身初優勝を飾った**田中淳也**(#55/ヤマハ)、田中に続くランキング3番手と躍進を見せた**鴨田翔**(#122/カワサキ)。ホンダからカワサキにマシンをスイッチしたベテラン**横澤拓夢**(#240)。更に若干17歳ながら昨年地元近畿大会で初優勝を飾った**吉田琉雲**(#46/ホンダ)、怪我で出遅れたもののスピードには定評のある**柳瀬大河**(#51/ホンダ)らが激しいバトルを見せてくれそう。次世代を担う若手の台頭、ルーキーの頑張りにも期待したい。

パーフェクトでの防衛なるか 川井が挑む2度目の完全制覇

最終戦2位で惜しくも全勝でのタイトル防衛こそ逃したものの、ここ数年LMXクラスで圧倒的な強さを誇り女王の座に君臨し続けているのがチャンピオン**川井麻央**(#1/ホンダ)だ。ライバルの挑戦を退け川井が自身6度目のタイトルに突き進むのか、それとも川井の独走にまったをかけるライバルが現れるかに注目が集まる。

そんな川井の背中を追い続けているのがランキング2番手に浮上した**箕浦未夢**(#2/ホンダ)だ。得意のスタートを決めて川井を抑え初優勝を飾ることが出来るか、地元での活躍が期待される。

更に大腿骨骨折という大怪我を乗り越えた**川上真花**(#14/ヤマハ)、急成長を遂げた**大久保梨子**(#3/KTM)、**穂苅愛香**(#8/ヤマハ)や**楠本菜月**(#5/ホンダ)、**松木妙子**(#6/カワサキ)らもチャンスを狙っている。タイトル経験を持ち川井の宿敵としてこのクラスに戻ってきた**本田七海**(#33/ヤマハ)にも注目。プログラムで気になるライダーのゼッケンと名前を確認しながら地元ライダーには特に熱い声援を送って欲しい。

D.I.D 全日本モトクロス選手権シリーズ 2026スケジュール

第1戦	中部大会	3月 15日	三重県/いなべモータースポーツランド
第2戦	HSR九州大会	4月 19日	熊本県/HSR九州
第3戦	関東大会	5月 23〜24日	埼玉県/オフロードヴィレッジ
第4戦	SUGO大会	6月 6〜7日	宮城県/スポーツランドSUGO
第5戦	中国大会	6月 27〜28日	広島県/世羅グリーンパーク弘楽園
第6戦	北海道大会	7月 12日	北海道/新千歳モーターランド
第7戦	近畿大会	9月 12〜13日	奈良県/名阪スポーツランド
第8戦	関東大会	10月 10〜11日	埼玉県/オフロードヴィレッジ
第9戦	MFJ-GP	10月 31〜11月1日	宮城県/スポーツランドSUGO

D.I.D® 全日本モトクロス選手権 第1戦 中部大会 開催おめでとうございます。
SUZUKI HONDA

左のQRコードは、ライブタイミングリザルトとライブ動画配信へのリンクです。また右のQRコードにアクセスすると、タ今大会のイムスケジュール、予選結果(決勝スターティンググリッド)、リアルタイムリザルト(決勝結果)の他、メーカー、主要チームの公式レポートや参加ライダーのSNSなど全日本モトクロス選手権シリーズに関する様々な情報にアクセスできるようになります。ぜひブックマークしてご活用ください。